

令和7年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業）
「沖縄発・ユーザー志向の医工IT創成人材の育成プログラム」
受講者募集要項

令和7年 7 月

国立大学法人 琉球大学

令和7年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業） 「沖縄発・ユーザー志向の医工IT創成人材の育成プログラム」 受講者募集要項

1. 概要

超高齢化社会の進展と新興国における医療需要の拡大を背景に、世界の医療機器市場は拡大を続けている。一方、国内市場は成長の伸びが鈍く、経済産業省が策定した「医療機器産業ビジョン2024」では、国内医療機器産業の競争力強化に向け、AI等のデジタル技術を用いた製品開発や市場形成、さらに開発人材の育成が喫緊の課題とされている。今後は、従来の治療機器に加え、IT・AI技術を活用したプログラム医療機器（SaMD）やロボット手術など、デジタルと医療の融合分野が成長を牽引すると期待されている。これらの分野における競争力を高めるためには、異種業種による新たな製品コンセプトの着想から概念実証までを迅速化し、医療現場のニーズを起点とした「ユーザー志向」の考え方に基づく発想力とデザイン思考により製品開発を進めることが重要である。

沖縄県では、高付加価値産業の一つとして「ものづくり産業」「情報通信業」の集積を進めており、企業誘致や県内企業、ロボット・システム関連企業との連携開発支援が行われ、新たな産業および雇用の創出に繋がっている。一方で、県内における医療機器・非医療機器のメーカーやベンチャーは数社程度と限られ、国内唯一（2022医療機器生産金額調査）医療機器生産額の記載がなく、医療産業としては依然として発展途上である。しかし、県内に根付いた既存製造業の多くは、小ロットながらも高品質・高水準のものづくりを実現しており、デジタル技術の導入も進んでいる。これらの強みは医療機器デジタル産業との親和性が高く、今後の国内外市場を見据えると、XRやAI等のデジタル技術と既存の製造技術を融合させた高付加価値な医療製品の開発が期待される。

そこで本プログラムでは、最終的に県内ものづくり企業を中心とした医療・ヘルスケア関連産業分野において、「ニーズを捉えたデジタル化のデザイン設計等を担える専門的知識・技能を持つ人材」の育成を目指す。その初期ステップとしては、医療分野のニーズを的確に捉え、他分野との連携や応用を視野に入れながら、保有するシーズを医療産業へ展開・活用する可能性を見出し、企画・提案まで担える、すなわち新たな産業創出を担う人材の育成を重視する。また、本学先端医学研究センターに新設された「メディカルDX・医工連携分野」を拠点とし、県外企業・大学との連携を強化することで、沖縄県を医療関連製品の開発・実証の拠点とした産業集積へと発展させることを目指す。

2. 受講対象

本プログラムは、医療現場のニーズに基づき、医療機器やサービスの構想・設計・実装・展開を担う人材の育成を目的とし、県内の製造・IT・通信分野において医療分野への参入や展開を目指す技術者経験のある実務者・実装担当者と、課題を抽出する医療者を対象とする。

<製造業・IT企業従事者（実務者）>

- (1) 製造業における設計・開発・製造・品質管理等の実務担当者
- (2) IT・通信分野におけるシステム、IoT、ソフトウェア開発等の実務担当者
- (3) スタートアップや中小企業、新規事業部署等での実装・開発担当者
- (4) 医療分野への営業展開を視野に入れている技術営業担当者

*グループワークでは、医療課題に対する技術的な解決提案やビジネスモデルの構築を担います。

<医療者>

- (1) 医工連携に興味がある医療従事者

*グループワークでは、病院、臨床、診療科などにかかる課題を抽出する役割を果たします。

*学生の応募は不可

3. 育成する人材像

県内の製造業・IT企業等から、新たに医療分野に参入しうる実装実現できる人材を育成する。医療現場のニーズ・課題を理解し、医療デバイスや医療サービスを構想・設計・実装・展開できる人材。従来の装置製造にとらわれない医療ソリューションの実装ができる人材を養成し、結果として、県内の医療ものづくりへ寄与する人材の創出を目指す。

4. 講習内容および講習時間

本コースは、働きながら学べるように、座学はオンデマンド配信を主体とし、病院見学や製造業見学は平日、ワークショップを土、日曜日に開講し、医療ニーズに重点を置いた受講プログラムを予定しております。実際の医療現場観察からニーズを見つけ出し、ニーズの選択までをグループワークを通して学ぶ形で実施します。対面講義/グループワーク（6～8時間）×5回、病院見学・体験（3～6時間程度）×2回となり、座学と併せて60時間の受講が修了要件となります。

5. 日程

公募期間：7月16日から8月7日
研修期間：9月初旬（予定）～1月下旬
最終報告会：1月末頃（予定）

6. 募集定員

受講想定人数 25 名程度

7. 研修体系（修了要件：合計60時間の受講）

- ・ オンデマンド研修（30時間程度）
- ・ 対面による実習・ワークショップ、病院見学（30時間程度）
- ・ 場所：琉球大学 西普天間キャンパス（沖縄県宜野湾市喜友名1076番地）
- ・ 研修実施：実習は土日（計4日程度）、病院・企業見学は平日（計2日程度）（9月から11月に実施）
- ・ オンデマンド研修は期日までに各自で受講する
- ・ （2025年1月末）報告会をもって検定試験とする

8. 受講者選定

受講者は、下記の審査に基づき選定いたします。

審査方法：書類審査およびWeb面接

*審査結果については、応募者全員にメールにて通知します。

*状況に応じ、追加募集を行う場合があります。

[選考ポイント]

- ・ 全カリキュラム参加の可否
- ・ 承諾者（研修参加にあたり所属組織の上長から許可を得られる方）からの推薦内容
- ・ 事前調査の内容

9. 主なスケジュール

日程	スケジュール・内容等
7月16日	募集受付開始
8月7日	募集締め切り
8月8日-15日	審査 書類選考および面接 ※面接の日時については、個別に連絡
9月初旬	審査結果通知 研修開講（オンデマンド受講開始）
1月中旬	報告会
1月30日	研修修了

10. 受講申し込み手続き

受講希望者は、以下に従い、応募書類を期限内に提出してください。

(1) 応募書類

下記様式に必要事項を記入して提出してください。

①受講申込書（様式1）

②推薦書（様式2）

③事前調査シート（様式3）

(2) 応募期間

令和7年7月16日（水）～令和7年8月7日（木）必着

(3) 申込方法

応募書類を応募期間内までに、ホームページに記された手順に沿って提出して下さい。

ホームページ：<https://chura-med.com>

11. 受講料

無料。ただし、オンデマンド受講のための機材・通信費、対面講義及び現場観察にかかる移動費は自己負担となります。

12. 修了要件

(1) 必修および選択の全講座の受講（基本的に遅刻、早退は認めないが、やむを得ない場合は、事務局に事前に相談するものとし、その上で必要な補習等を行うこと。）

(2) 報告会で実施されるグループプレゼン結果

(3) 各講座におけるテスト等への回答、事務局が求めるアンケート等の提出。

13. 修了証の交付

「12. 修了要件」を満たしたものに対し、内閣府担当大臣より修了証を交付します。

14. 秘密保持

研修で使用する資料は事務局の許可なく不当に流用、配布、譲渡、公開しないこと、また、研修において知り得た情報についても、研修期間中および終了後も機密保持することをお約束ください。

15. その他

本講座では、効果的な講座構成および研修効果の向上、また研修効果の確認を目的に、研修後にフォローアップ調査等を実施します。ご協力をお願いします。

16. 実施主体

国立大学法人 琉球大学医学部（内閣府の委託により実施）

17. 問い合わせ先：ちゅらめど事務局

琉球大学医学部 先端医学研究センター 医療DX・医工連携班 担当（内海、宮城）

E-MAIL chura-med@w3.u-ryukyu.ac.jp

HP <https://chura-med.com>

プログラムの主なスケジュール（予定）

	日程			内容
開講式	9月12日(金)	オンライン	10:00～ 12:00	オンライン・プログラム開講式および説明会
第1回	9月13日(土)	琉球大学医学部内	13:00～17:30	医工IT連携のスタートアップ ニーズドリブン思考 スタートアップ・成功事例 オンデマンド配信（専門科目、選択科目、特論）を開始。 *順次講義をアップロードする予定です。
企業見学	10月7日 (火)・10月21 日(火)(予定)	中城湾港新 港地区	13:00～17:30	中城湾港新港地区の製造業企業の見学 (出席はどちらか1日のみ)
病院見学	10月10日 (金)・10月24 日(金) (*候補日)	琉球大学病 院内	13:00～17:30	琉球大学病院の見学
第2回、第 3回	10月25日 (土)、26日 (日)	琉球大学医 学部内	10:00～17:00	講義・グループワーク ニーズステートメントの作成
第4回、第 5回	11月29日 (土)、30日 (日)	琉球大学医 学部内	10:00～17:00	講義・グループワーク ニーズステートメントの作成
	12月中旬～1 月末			ファイナルプレゼン準備～ オンラインでグループワーク予定
報告会	1月中旬頃			ファイナルプレゼン
閉講	1月末			オンデマンド配信終了

上記の対面による実習は必須となっております。内閣府による修了認定を受けるためには、すべてのカリキュラムの履修が必要となりますので、あらかじめ受講スケジュールをご調整ください。
なお、病院見学、企業見学、グループワークの日程については、受け入れ先の都合により変更となる場合がございますので、あらかじめご承知おきください。